

第1回 三重県立白山高等学校 「学校運営協議会」 概要

平成30年5月8日(火)

於：白山高等学校 会議室

1 あいさつ

・ 白山高等学校長

本日は御多忙の中、お仕事でお疲れのところ白山高校にお出でいただきまして、誠にありがとうございます。この4月から白山高校の校長に着任いたしました赤塚でございます。この1か月半ぐらいいで、白山高校が地域の人たちとか、あるいはPTAの方々から、ずいぶん支えられながら子どもたちの成長を見守っていただいている。そのところを実感しているところでございます。授業が始まって1か月くらい経過して、多くの生徒はずいぶん落ち着いて授業を受けていると思います。朝学などの姿を見ても、非常に静かに取り組んでいるという状況があります。また部活動につきましても、ずいぶんたくさんの生徒が部活動に入るようになり、野球部は新聞でも見ていただいたかと思いますが、県大会で準々決勝まで進出しました。弓道部につきましても、先日の大会で東海総体への出場を決めるという活躍もあります。また、卓球部につきましても県大会出場、陸上部につきましても国体の選考会の最終段階まで進んだという活躍があります。また文化部につきましても吹奏楽部、茶道部、商業部が、地域の行事に積極的に参加しており、ずいぶん好評をいただいています。そのあたりに子どもたちも満足感を高めていると思っています。そのようなところも、この学校運営協議会や、もう一方で行っております学校活性化協議会からも、御意見をいただいてこそこの学校運営だと思っています。今後も様々な方から御意見を頂戴し、お力を借りながら取組を進めたいと考えておりますので、1年間よろしく願いいたします。

・ 三重県教育委員会

三重県教育委員会高等教育課の岩崎新一郎と申します。今年度、白山高校のコミュニティ・スクールを担当させていただきます。よろしく願いいたします。私自身、昨年度までは飯野高校で美術の教員をしておりました。今年度、転勤しまして教育委員会の方に勤めております。地域の皆様、校長先生、教頭先生をはじめとした教職員の皆様、日頃は白山高校の生徒のために様々な取組をしていただき、ありがとうございます。白山高校の方では、総合的な学習の時間を通して菊を栽培するとか、また、独自商品である白山フランク等の取組をされているということを知っております。また、地域の皆様にはインターンシップ等でお世話になっていとお聞きしております。今後とも、こういった会を通してぜひ、より一層御尽力いただきますよう、よろしく願いいたします。精一杯頑張らせていただきますので、よろしく願いいたします。

2 委員自己紹介

年度当初ということで、第1回の学校運営協議会に入らせていただく前に、3期目の2年目ということで、委員の方々については引き続きとなりますが、職責でお願いしている方につきましては定期異動等で入れ替わっております。新しく委員になられた方もみえると思いますので、引き続きの委員の方も含めて申し訳ございませんが、御着席順に自己紹介ということでよろしく願いいたします。

3 報告事項

(1) 取組の経緯と今後の方向性について

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校のことで、文部科学省の方の

制度ということになっています。本校のこれまでの経緯ですが、かつて中高一貫教育というものを
おこなっており、地域の白山中学校と美杉中学校とで連携型中高一貫教育をしていました。それを
平成26年度に廃止し、巻き替えるようなかたちでコミュニティ・スクールを導入したということ
になります。三重県教育委員会の取扱要領というものがあり、これに基づいて各学校が定める会則
があります。これが法的根拠になります。そして、29年度の取組状況ということですが、地域と
連携した取組をおこなっています。3年生の長期インターンシップや2年生の夏季インターンシ
ップでは、御協力していただいております。特に昨年度は、吹奏楽部が特別養護老人ホームつつじの
里・笑美の里での慰問演奏を行いました。また、家城地区の文化祭にも、合同参加という形で美杉
中学校とともに演奏をしました。当初、コミュニティ・スクールを導入したところ、1期目ですが、
学校側が主導するというかたちでいろんなものを設定するように進めて行きましたが、3期目に入
りまして委員の皆様から積極的な御提案等をいただけるようになりました。やはり当初は学校運営
協議会、コミュニティ・スクールって何なのかというようなところもあったかと思います。特に3
期目からは様々な積極的な御提案をしていただけたと考えております。可能な限り、いろいろな御
意見を受け入れていきたいと考えております。それから取組の創出とありますが、地元の活動等へ
の参画を目指し、家城公民館、社会福祉協議会、消防団、津市商工会や、家城地区自治協議会にも、
御協力をいただいております。コミュニティ・スクールの指定状況ですが、平成29年度4月1日
現在の数です。平成30年度はもっと増えていると思います。三重県の高等学校ということでは3
校です。最初に紀南高校、そして白山高校、南伊勢高等学校の南勢校舎というところが入ってきま
した。南伊勢高等学校は南勢校舎と度会校舎があり、南勢校舎が1学年1クラス、度会校舎が1学
年2クラス、あわせて1学年3クラスとなります。南勢校舎だけがコミュニティ・スクールの指定
校です。今年度から新しく指定になっているという学校の話は何っておりませんので、現時点では
この3校と考えております。

(2) その他・・・特になし

4 協議事項

(1) 平成30年度の会長と副会長の選出について

昨年度は会長に吉田委員、副会長に岩崎委員で、お願いをさせていただきました。本年度は3期
目の2年目ということになりますので、事務局原案といたしまして、引き続き今年度も会長と副会
長については、会長は吉田委員、副会長は岩崎委員で、お願いしたいと考えております。御了承さ
れたということで、今年度も昨年度に引き続き会長に吉田委員、副会長に岩崎委員にお願いしたい
と思います。

○ 会長あいさつ

僭越ながら、今年度も会長をさせていただきます。可能な限り御協力させていただければと思
います。今年度も1年、改めてよろしくお願ひしたいと思ひます。

○ 副会長あいさつ

私の方は1期目から、関わっていますが、なかなかこういうところで良い案も出ませんでした
が、よろしくお願ひします。

(2) 平成30年度白山高等学校「学校マネジメントシート」について

- ・ 平成30年度学校マネジメントシートについて説明をさせていただきます。三重県の県立学校
におきましては、三重県型学校経営品質の考え方や基本理念を継承した学校マネジメントシステ

ムによってより良い学校づくりを推進することとなっています。したがって、学校マネジメントシートというものは、県立学校すべての学校で作成しているところであります。まず目指す学校像として昨年度と同様、地域を愛する若者を育成し、地域の活性化に貢献する学校といたしました。育みたい生徒像として、基礎学力と規範意識を身につけていること、そして地域の活性化に貢献していることをあげました。また、ありがたい教職員像として生徒の多様なニーズにきめ細かく対応できること、そして、積極的に地域と触れ合うことをあげています。現状認識でございますが、各種アンケートや学校運営協議会でいただいた御意見に対して、本校における認識も示しています。昨年度からの修正点もあります。アンケートからは本校に対して、社会へ通用する人材の育成が求められていると感じています。そのために、学習の質の向上、部活動の活性化や地域との連携を推進することで基礎学力、コミュニケーション能力、規範意識を育む教育活動の充実を図ること、また外部教育力の活用、家庭と学校との連携・協力体制づくりを課題としてあげました。中長期的な重点目標として3点、確かな力と規範意識の育成、地域とともにある学校づくりの推進、生徒のための教職員組織づくりの推進をあげました。それぞれの目標を達成するための取組内容及び指標を本年度の行動計画に示しています。確かな学力と規範意識の育成につきましては（1）基礎学力の向上、（2）3年生の就職対策、（3）身だしなみの向上、（4）人権意識の向上、（5）命を大切にす教育の推進の5点に取り組みます。学校運営等の方は、地域とともにある学校づくりの推進について（1）学校運営協議会による学校づくり、（2）地元の企業のニーズに基づいたキャリア教育の推進の2点に取り組みます。生徒のための教職員組織づくりの推進については（1）生徒のニーズを踏まえた改善活動、（2）教職員の働きやすい環境づくりの2点に取り組みます。このうち、教職員の働きやすい環境づくりにつきましては、すべての県立学校で統一して取り組む内容となっております。具体的な取組を評価する指標につきましてはあれをやったとか、これをやったとかいう活動指標よりも生徒がどうなった、どのように変わったという成果指標を大切にしていきたいと考えているところです。年度末に記載となっているところは、今年度末に御協議いただきたいと思っております。マネジメントシートの説明については以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

- ありがとうございます。今年度の白山高等学校の学校マネジメントシートについて説明いただきましたが、みなさん何か御質問や御意見はありますか。気軽に、御意見いただければと思いますので、積極的な御意見をお願いします。
- この6年間を拝見して、目まぐるしく白山高等学校は変わったなと非常に驚いております。このマネジメントシートに沿って、先生方また我々委員が意見交流をしていくことで変わっていったのか、生徒の質が変わったのか、何かはよくわかりませんが、6年前より大きく変わっているというのが現実的でございます。そういうところで、この学校運営協議会も非常に良い方向に進んでいるので、さらなる発展のために御意見をいただけたらと思います。就職とか進学も本当によく、同じ職場の保護者の方からも、「今年高校受験なんやけど、相談のってくれへん？」と言われますが、今だったら胸をはって白山高校を勧められます。非常に我々にとっても非常に胸を張って良い学校だといえます。上の世代の方ではやはり昔のイメージがなかなか払拭されずに残っているので、「本当に大丈夫なん？」っていう言葉も返ってはきます。ですが、「大丈夫ですよ」というかたちで胸を張って言っている現状があるのも、学校運営協議会の活動の賜物だと思いますので、皆様の御意見を積極的に聞かせていただけると良いと思います。
- 白山高校が以前とは変わってきているという面もありますが、道いっばいに、生徒が広がって

帰って行き、ゴミも朝から先生方が袋を持ってずっと拾っているのを見ます。昔のことを思えば
すごくきれいにはなっていますが、やはり2・3年生の生徒さんが指導するというか、「こんな
あかんのやぞー」というようなことを少し言ってほしいと思います。道をいっぱい歩くとか、
ふざけて帰るとか、元気なのはすごくいいんですけど、指導してもらったら白山高校はもっと
良くなるんじゃないかと思えます。部活動の方はすごく活発にやっていたので、野球
部、弓道部…これも6時の電車で帰っていくのを見て、いつも部活動の方で頑張っているだと思
っています。一方、私有地を行かないでくださいって書いてあるのに、やはり行ってしまふ生徒
がいます。電車でギリギリの時など、本当に3分～5分くらいでもう電車に間に合わないとか、
電車の時間はわかっているはずなので、10分でも早く学校を出て、電車に間に合うように行っ
ただけければ、私有地を歩くことはなくなると思えます。

- 御意見ありがとうございます。朝は本校の生徒指導部が中心になって、ゴミ掃除をずっと一緒
に毎日のようにさせてもらっています。4月頃はゴミも結構あったんですが、全校集会の時に「ゴ
ミがあることは恥ずかしいこと」という指導をしました。ゴミはかなり減ったと思えます。自分
も登校指導をさせてもらっていますが、ずいぶんゴミは減ってきていると思っていますところ
です。ただ、道路に広がって歩いているのは、今でも拝見するところではありますので、私有地を通行
してはいけないということも含めて、引き続いて学校の方でも指導させていただきたいと思っ
ています。
- いつも、クリーン作戦には参加しているので、今年も皆さんが参加していただけると、生徒の
気持ちも変わると思えますので、よろしくお願いします。
- 目指す学校像、育みたい児童生徒像ということですが、白山高校さんに有識者ということで1
年間来させていただいて、授業等を見せていただき、一生懸命、本当に生徒が勉強している姿
を見せていただきました。学校行事も、先生方と一緒に生徒が一生懸命取り組んでいる姿
を見て、すごくいい学校だと思っています。このことが学校マネジメントの成果として表れてきて
いるというように思いました。
- 先生方がすごく取り組んでみえる、頑張ってみえて、成果が出てきているのに、もったいない
と思っています。たとえば、基礎学力と規範意識を身につけてきていること、地域に入って地域
から信頼され、地域の活性化に貢献しているなど、たくさんあります。それらのことによって、
児童生徒がどのように変わってきたかを、マネジメントシートに入れられたらよいと思えます。
例えば、そのことで「僕たちは伸びているんだ」、地域に入って「みんなから信頼されているんだ」
ということによって、生徒の自尊感情というか、自己肯定感、自己有用感など、そういった内面
的なものが高まっていくというように思えます。育みたい児童生徒像の中に、そのことを入れて
いただければと思います。
- ありがとうございます。内面的なことと地域の方々との関わりの中で、コミュニケーション力
というか人間関係力というか、そのような力を身につけていければと思っていますところ
です。外部の力を借りながら、このような取組を進めていきたいと思っていますので、参考にさせてい
たきます。
- こんにやく作りに、もう3年か4年ぐらい前から、美杉から来させてもらっています。はじめ
は本当に「この子たち、どんなんやろなあ」と感じていました。後継者に私の息子が
いるんですが「もうあんなやったら、行きたくないわ」と言って、1度来させてもらっただけだ
と思えます。それが、昨年度来た時には、すごくいい子たちばかりですごく変わったな、という

感じを受けました。今では、もう隅っこ行ってスマホをしったりする子は全くなくなっています。前なんかはもう多くの生徒が集まって、ごく一部の生徒だけがするっていう感じでしたが、昨年度の生徒は全員が一生懸命聞いてくれて、全員が参加するようになったような感じを受けました。すごく変わったように思いました。

- やはり地域との関わり合いというのが増えたと思います。それによって、生徒も地域の方と接する機会が多くなったように思います。なかなか、一度に目に見えた成果というのは出にくいと思います。すぐに結果を求めてしまいます。学校運営協議会では、色々な形で生徒に関わりを持ちながらやっていくことも大事ではないかと思いました。
- はじめに、会長もおっしゃられていましたが、ここ数年で白山高校はずいぶんと良くなってきたと思います。今年も、それを感じます。具体的には、本年の2月・3月にあった前期選抜・後期選抜ですが、その志願者状況にも表れているんじゃないかなということを感じました。ここに至るまでに、白山高校の先生方が、ずいぶん御尽力されたのではないかと思います。結果が表れているんじゃないかなと思います。
- 「教職員の働きやすい環境づくり」ということが大事なことで挙げてられています。今すごく問題になっているのは、総勤務時間の縮減に向けてどう取り組むかというようなことです。県教委の方からも、定時退校日の設定、部活動休養日の設定、会議スマートルールの適用など、やはり県教委の方からも言われており、中学校もこれは同様な状況です。このなかで、白山高校もそうだと思いますが、時間外の勤務についてです。ここにも80時間を超える時間外労働者の延べ人数前年度比3人削減って書いてありますが、このように数値目標・指標を定めてそれに取り組むことが大事だと思います。中学校も同様です。部活動のことも同様です。80時間を超える人、100時間を超える人、おります。数値目標を立てるにあたっては、これは大事なことでと思いますが、その後の取組をしないと減っていかないと思います。そのあたりは、具体的なことはありますか。
- 数値目標は一応、働きやすい環境のところでも6項目を挙げています。県教委の方でもこういうことを示せということがありますが、それを参考にしながら基準値を定めて、やっているところなんです。今、おっしゃられたように部活動ですが、悩ましい問題です。多くの学校では部活動の時間数が多いんですが、本校は立地条件があって、名松線とか津市コミュニティーバスの運行状況があり、この時間には終了しないと子どもが帰って行けないというところがあります。多分、多くの高校だったら夜遅くまで練習していると思いますが、今御覧いただいているように、ほとんどもう帰っているという状況の中で、そう多くなるっていう環境には、幸いにしてか、ないのではないかと思います。ところで、時間外労働時間で、一定時間を超えた教職員については校長面談をするということになっています。「面談するから、するなよ」ということをしている訳でも、何でもないんですが、面談をしながらどうやったら仕事を効率的に進められるかとか、どうやったら仕事の分担ができるかとかですね、そのあたりもさせてもらっているところがあります。80時間超えを3人削減するというのですが、昨年度の数もほとんど少ない状況です。季節的なものもあり、例えば教務部とかは年度初めとか年度末とかがとても忙しいので、その時に集中しているという実態もあります。まれに100時間とかチェックさせてもらったりはしているのですが、本校に限ってはそういう数値は挙がってきていないというところがあります。そうは言っても、子どものことでいろいろなことが発生すると家庭訪問をしたりとかですね、夜遅くまで家庭連絡をしたりとかそういうこともありますので、子ども中心にしていけば、時間

外の部分が増えていくのは致し方ないとは思いますが、そのあたりは年間を通じてバランスをとって休養を取るとか、そのようなことも働きかけたいと思っているところであります。

- ・ 何よりも白山高等学校は生徒に軸足をおいて、常に考えていただいているというのは非常に我々にとってもありがたいところですし、生徒さんのためになることですのでよろしくお願いします。

(3) 平成30年度白山高等学校「学校運営協議会」の年間計画(案)について

- ・ 今年度も、昨年度に引き続き、様々な会議に委員の方々に御参加をいただこうと思っています。その機会に、実際に御覧いただきまして、様々な御提言・御意見をいただきたいと考えているところです。5月9日に第1回が、そして第2回が授業公開ということで、授業の方を見ていただいています。第3回が、清掃活動への参加ということです。また今年度も生徒会を中心に声掛けをしておりますので、御予定の程よろしくをお願いします。第4回が3年生普通科の総合的な学習の時間の見学です。昨年度は主に、新規事業所を中心に見ていただきました。昨年度からは、名松線を活用しています、以前は学校の近隣の事業所だけだったんですが、名松線を利用して、隣の関ノ宮の駅付近の方へも行っています。今年度についてはそれよりも、もっと向こうにある一志駅の方まで行っています。名松線の活性化ということにもなると思っています。第5回が、いわゆる学校の自己評価についてです。今日の学校マネジメントシートをもとに、私ども学校の方が、様々な活動をして、上半期でこのことをどうしたかと自己評価をして、それについて御意見をいただくというかたちになっております。第5回については本日と同じ18時からとなっております。第6回が文化祭の見学です。文化祭を見ていただくということになります。第7回については、昨年度初めて公開させていただいたんですが、家庭科こんにやく講習会を公開していただき、藤田委員の講習会を御覧いただきます。第8回は、最後の年度末の評価ということになっております。
- ・ 3つの部会の名前としては、学習指導部会は授業を見ていただき、授業改善ということについて考えたいと思います。もう一つの学校活性化協議会の方でも授業のユニバーサル化など、打ち出しているところもあります。どのように授業の質を上げていくかというように焦点をあてています。キャリア教育部会というのは、いわゆる進路指導について考える部会です。学校の目玉として3年生普通科で、総合的な学習の時間での長期インターンシップをさせていただいております。実際に私どもの生徒が外へ出ていくことによって、地域からも、御協力いただいていることを感じつつ、地域に貢献するという観点・視点を培うことができるのではないかなというように考えております。最後の部会としては、地域交流部会になります。今までは、いわゆる地域の清掃活動をしていました。第6回では文化祭を公開しておりますので、ぜひ御覧ください。第7回は地域の特産である美杉のこんにやくを取り上げています。
- ・ ありがとうございます。今御説明もありましたように、今年度も、昨年度同様に部会というような名前を付けているんですが、テーマを絞って、テーマ別の会議として設けて、御検討していただくことにします。次年度で4期目になるので、4期目の時には、どうするのかを検討してください。テーマ別で4期目も進めていって良いのかという検討もしていただきたいと思います。4期目から新たに次のステップへということで、見直す機会としてこの1年間を考えていきたいと思っております。
- ・ 多分、2期目にこのような形になったと思っております。次期より、4期目になりますので、どうしたらよいかというところも含めながら、1年間見ていただけたらありがたいと考えています。

- ・ 1期目の時に学校運営協議会をどのように進めていくのかというような議論があり、2期目のスタートの時点で、具体的なテーマ別に絞って、授業であったり地域の様子であったり、具体的に取り組んではという御意見を賜って、事務局の方で考えて、とりあえず3つの柱でテーマ別でやっていこうとなったと思います。
- ・ 基本形は、このまま確定でいいと思います。次年度、改善する点があればそれを念頭に置きながら、どうするのかを検討していけばよいと思います。あまり大きく変更しない方がいいのではないかなと思います。

(4) 平成29年度白山高等学校「学校マネジメントシート」について

- ・ この学校運営協議会では、先程も申し上げていますが、学校関係者評価委員会という委員会を兼ねております。他校さんですとだいたい5名の委員です。委員として5名以内で、任期は3年以内となっています。ところが、学校運営協議会を設置している学校については、その委員ということでだいたい15名くらいで、なおかつ任期がないということになっています。平成29年度最後の会議で、様々な御意見等をいただいております、それをまとめて県教委の方へ報告しています。最終的な学校マネジメントシートを、ここで挙げさせていただいておりますので、御意見をいただければと思います。具体的に数値も含めて出させていただいております。今年度も、最初にお認めいただいた平成30年度の学校マネジメントシートにしたがって、年度末最後の会議でいろいろ評価していただき、「年度末に記載」のところに記載していきたいと思います。学校関係者評価ということで、いろいろな御意見をいただいたところかと思っております。年度末になって、御意見をいただき、次年度に向けた改善策について、いろいろな御意見をいただきたいと思います。それをまとめさせていただき、完成させるということになります。
- ・ 昨年度のことですが、すごい白山高校の特徴ある取組の一つだと思うものがあります。それは、高校野球の応援です。その時に、地域の中学校と連携して応援するというのがあったと思います。白山中学校と美杉中学校の吹奏楽部とが一緒になって白山高校の野球部を応援しようということです。このことはまさしく、この地域で連携した取組の一つになると思います。これは、いつから始まったのですか。
- ・ 吹奏楽部の顧問をしておりますが、私が赴任した年からしていますので、今年度で6年目になります。その前までは、やってなかったと聞いております。
- ・ 中学生の吹奏楽部の生徒が、高校の先生に指導されてやっていくというのが、すごくいい経験かなと思っています。高校の部活動に対しても意識付けができるし、吹奏楽部の生徒から聞いたことですが、「私は野球のことは全然わからん。でも、何かみんなで応援して勝った時、すごく嬉しかった。」と生徒が言うんですね。これは結構、地域が一体となって取り組む活動の一つだということで、これからも続けてほしいと思います。中学校としても、どんどん協力していきたいと思っています。とは言いながら白山中学校は、1回戦には勝ったんですが、次の試合の時には学校行事があったので参加できなかったんです。今後とも中学校としては、このような取組に、ぜひ協力していきたいと思っています。
- ・ 先程、中学校の校長先生が言われたように、「これが地域交流なんだ」という我々が普段やっているから当たり前のように感じることも、「そう言われるとそうなんやな」というようにたくさん見えてくることがあると思いますので、こんなもあるんじゃないかなということも、御意見を賜ればありがたいと思います。
- ・ 私も、あまり知らなかったんですが、笑美の里へ吹奏楽部の方が来てもらい、たまたまお姑さ

んが、この8月で、109歳になるんですが、吹奏楽部の生徒さんに、ちょっとパフォーマンスをしてもらったんですが、すごく喜んでいました。また茶道部は、どこに行っても、お茶を点ててくれたりとかで、生徒もすごく、表に出ているんですよ。どんどんやってほしいし、そういうことがすごく良かったと思います。さっき言われたように、私もこの1年間で、「これ、すごいやんか。」「吹奏楽部がそういうふうなこんな貢献をやってるんや」みたいに感じました。白山高校ってすごいことをしているんだという好感が持てましたので、そんなことをどんどんやってほしいと思います。でも、悲しいかな、美杉から本当に白山高校へ行く子どもさんの姿が全然見られないんです。高校生っていうのが、本当にいないんですよ。今年卒業した中学校3年生が修学旅行で特産品を売ってくれたんですが、11人しかいないんですよ。今まででしたら、いっぱい白山高校に生徒さんが見えて、家の前を通るのがわかったんですけど、全くわからないんですよ。やっぱり寂しい限りです。その中でもこうやって、桜祭りの時にはお茶を点てて、「お茶、どうですか」って言うてくれたりするんです。昨年度初めて、笑美の里で吹奏楽部の演奏をしてくれたりして、何かすごく、嬉しく感じました。

- 本物の音楽というか。そういう生の音楽を聞くという機会がないんです。だから多分、本当に笑美の里の方たち、すごく喜んでもらったと思います。だから何か交流の場があれば、生の演奏を聞ける機会にすれば、よいかと思います。本当に美杉も高齢化が進みましたから、そういうことをしていただけたら、元気になっていただけたらと思います。
- 美杉中学校の先生からも、今年度の入学生は8名と聞いています。吹奏楽部の部員が全員あわせて6人ぐらいになってしまうので、ぜひ一緒に演奏をというふうに言われています。また一緒に、福祉施設を訪ねさせてもらいたいと思っております。
- スポーツ系、運動系の部活動はメディアが取り上げるので、こういう活動がなされているとよく分かります。なかなか文化系の部活動は、そういうメディアにあまり取り扱われないものですが、地域住民の方への感動っていうのは与えていただけたらと思っています。また皆さんも「来てくれるんやに」っていうアピールをしていただくことが、地域活性化につながっていくものと思っています。
- 結果が出ているから、野球をしたいっていう生徒は遠くからでも来るようになってきたっていうところですかね。やはり自分らでも、出張に行ったりすると「白山高校、強いな」とか「今年はええとこ行くんちゃう？」とか声を掛けていただけたらいいので、中学校のお子さんとか、先生方の中でも「白山に行ったら、野球できるよ」というのが広がってきたのかと思います。結果として表れてきていると思います。
- 非常に礼儀正しいですね。僕が通ると、帽子をとって礼をしてくれます。監督がしっかりしていると思います。生徒たちがしっかりしているので、これからの活動が楽しみです。
- 白山高校は名松線の時刻に合わせて帰っているのに、「なんで勝てんの？」と思うんです。もうまさに神業というか、マジックというか。去年の夏で、三十何年振りの三回戦進出となりましたが、あれはもうかなりの宣伝効果があったなと思います。
- 陸上競技部ですが、東海大会に出た生徒がいます。今年入った1年生の中でも、砲丸投げで頑張っている生徒が入ってきています。すごく頑張っているところです。短距離の方でも、頑張っています。礼儀の部分も含めて指導しているところです。結果に出てくれば、自分の自信にも繋がるかなと思っていますが、なかなかそこまではいっていないのが現状です。今後とも、しっかりと指導したいと考えています。

(5) その他

- 今年度入学生の教育課程ですが、お手元のクリアファイルにもありますように制服が変わりましたがもう一つ、学校の学習内容が変わりました。本校における2大改革というもので、中学校にもお話をさせていただいています。教務主任の齋藤の方から、少し御説明させていただきます。質問等があれば、会議終了後に御質問を承りたいと思っておりますので、齋藤の方から説明をさせていただきます。
- 教務部の方からお話させていただきます。まず3年生の総合的な学習の時間の紹介をしていただきました。今年度は一志駅の方まで広がりました。大変助かっております。ありがとうございます。本年度、2つの事業所さんからお断りがありましたので、何とかぎりぎりの状態で行けたという感じです。来年度、もう1つ断れそうなところがありますので、ぜひ今年度も、どこかの事業所さんを御紹介いただくとありがたいです。助かりますので、よろしく願います。
- 教育課程については、大きく変わっています。ちょうど2年前の会議で議論になりました。2年生と3年生の普通科では、教養類型と発展類型と福祉類型があります。就職や進学を考えると類型別に学習する内容が違う訳ですが、発展類型と教養類型の差があまりないのではないかという声が生徒からも教員からも出ておりました。それで、考え直そうということになり、2年前にこの場で検討状況について、お話をさせていただきました。そして、今年度入学した1年生から、教育課程が変わりました。2年生から、普通類型と福祉類型と2つの類型に分かれることになりました。2つの類型では、まず共通な科目を学習して、普通科のなかに普通類型と福祉類型に分かれるといった簡単なものになりました。あまり差がないということでこういう形になりました。それから商業に関する学科である情報コミュニケーション科ですが、商業科の科目を合計25単位以上取得しなければならないのですが、こちらの方も英語という教科で商業に読み替えることができますので、新しい30年度入学生では若干商業系の科目が減っております。その代り、普通科と同じ科目を学習して、共通の内容で学習していけるように変わりました。少し細かいところは御覧いただいて、わからないところは聞いていただけたら結構でございます。生徒の進学や就職に向けて、より良いように変わったというように考えております。
- 補足になりますが、30年度において、中学校さんに説明させていただいているんですが、普通科の体育の中に、スポーツⅡがあります。2年生の普通類型にあるスポーツⅡです。以前はなかったんですが、普通類型で選べるようになりました。2年生での新しい選択科目です。選択を2年生から導入したことも大きな変化かというふうに思っています。3年生でも選択が増えていきます。選択A、B、Cというようになっています。つまり普通科でしたら、いろいろな科目が選べるようになっています。

5 連絡事項

- 次回は5月12日の土曜日です。御都合がつくようでしたら、御参加をお願いします。この12日の予定ですが、当日10時50分に校長室においでいただいて、11時から3限目の授業を見ていただく、そして3限目の授業が終わりましたら11時50分から1時間くらいを目途に校長室で、授業の様子等の感想をいただきたいと思っております。ちょっと学校の様子をみたいという場合でも短時間でも結構でございますので、お越しいただければと思っております。本年度は、他の特別支援学校も含めて、県立学校と地域の中学校の方にも御案内をさせていただいております。門戸を広げての実施になっておりますので、今回見に行こうと思われるようでしたら、御来校いただけれ

ばと思います。ぜひ、この機会によろしくをお願いします。それから、今日は現物を用意していないんですが、首下げも委員さんの分はすでに用意しております。教務部の方で受付をさせていただきますので、そこで持って行ってください。下げただけであれば、委員の方とわかるようになっております。これで、受付をさせていただくということになっております。よろしくお願いします。事務室は正面玄関の方になります。そこに教務部の受付がありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。本当に、本来ならば郵送にて御案内させていただくところですが、お帰りの時に事務局まで教えていただくことで御勘弁いただきたいと思ひます。第3回以降につきましては、郵送にて改めて御案内させていただこうと思ひております。本当に御都合のつく限りで構いませんので、学校の方に来ていただいて、学校の様子とか見ていただきたいと思ひますので、ぜひよろしくお願ひします。

- ありがとうございます。他に何かありますか。なければ、終わらせていただきたいと思ひます。それでは、平成30年度第1回学校運営協議会を終了したいと思ひます。ありがとうございます。